



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社

コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 桜田 弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 池田 達也

TEL 0475-26-0160

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	52,039	9.8	1,638	△10.7	4,266	18.2	2,832	15.1
26年3月期第3四半期	47,386	9.4	1,835	—	3,610	—	2,460	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 12,610百万円 (21.3%) 26年3月期第3四半期 10,393百万円 (256.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	63.77	—
26年3月期第3四半期	55.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	162,925	147,495	84.2
26年3月期	150,859	137,035	85.1

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 137,149百万円 26年3月期 128,332百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,700	8.3	2,500	12.8	3,700	△2.3	1,500	△16.5	33.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	45,886,739 株	26年3月期	45,886,739 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,464,140 株	26年3月期	1,463,257 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	44,423,130 株	26年3月期3Q	44,424,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では企業業績の改善や堅調な個人消費が継続しておりますが、アジア地域は、中国では経済成長率の鈍化がみられ、韓国では不透明感が増すなど地域全体での景気拡大ペースは緩やかなものとなりました。

国内経済は、各種政策の効果などから雇用・所得環境の改善がみられますが、依然として消費税率引上げに伴う個人消費低迷の長期化や海外景気の下振れリスクもあることから、先行き不透明な環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、引き続きウェアラブル製品向けフィルムタイプ有機ELディスプレイやタッチパネルなどの販売拡大に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は520億3千9百万円(前年同期比9.8%増)となりました。このうち海外売上高は、アジアおよび欧州市場が伸びたことから309億9千万円(前年同期比14.1%増)となり、国内売上高は210億4千8百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

収益面では、営業利益は16億3千8百万円(前年同期比10.7%減)、経常利益は42億6千6百万円(前年同期比18.2%増)、四半期純利益は28億3千2百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 電子部品事業

蛍光表示管につきましては、音響用途は前年同期をやや上回りましたが、主力である車載用途が国内・海外共に低迷したことから、売上げは前年同期を下回りました。

蛍光表示管モジュールは、主力であるPOS用途に加え、海外での自動車用途が好調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

有機ELディスプレイは、前期に本格参入した車載用途およびウェアラブルを中心とした通信機器用途が大幅に増加し、売上げは前年同期を上回りました。

また、タッチパネルは、国内の車載用途が順調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は190億2千3百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

#### ② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器につきましては、国内ではカー用プロポの高級機である「4PX」を投入し、海外では欧米市場が回復したことから売上げは前年同期を上回りました。

産業用ラジコン機器は、トラッククレーン向けや農業関連向けのテレコントロール製品が堅調に推移したことから、売上げは前年同期を上回りました。

ロボット用機能部品は、大手パートワーク(分冊百科)販売会社に供給しているコマンド方式サーボモーターを海外でも販売したものの、売上げは前年同期を下回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は75億3千2百万円(前年同期比12.7%増)となりました。

#### ③ 生産器材事業

プレスおよびモールド金型用部品、プレジジョンプレートなどにつきましては、海外においては、韓国はスマートフォン向けが底堅く推移し、中国も緩やかに持ち直したことから、売上げは前年同期を上回りました。

国内では、プレート製品が価格改定などの施策を実施したことから売上げを伸ばし、ホットランナやモールドマーシャリングシステムなどの成形合理化関連製品も順調であったことから、売上げは前年同期を上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は254億8千3百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産や投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ120億6千6百万円増加し1,629億2千5百万円となりました。

負債は、退職給付に係る負債や支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ16億5百万円増加し154億3千万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定や少数株主持分の増加などにより、前連結会計年度末に比べ104億6千万円増加し1,474億9千5百万円となりました。この結果、自己資本比率は84.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が699百万円増加し、利益剰余金が699百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	60,160	60,132
受取手形及び売掛金	18,007	19,925
有価証券	6,463	5,317
商品及び製品	3,970	4,914
仕掛品	2,734	2,998
原材料及び貯蔵品	6,350	7,391
その他	1,231	1,487
貸倒引当金	△195	△263
流動資産合計	98,722	101,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,115	14,337
機械装置及び運搬具(純額)	10,301	10,583
工具、器具及び備品(純額)	723	812
土地	16,533	17,958
リース資産(純額)	111	92
建設仮勘定	1,774	3,812
有形固定資産合計	42,559	47,597
無形固定資産	1,101	1,292
投資その他の資産		
投資有価証券	7,067	10,546
その他	1,507	1,718
貸倒引当金	△99	△133
投資その他の資産合計	8,475	12,131
固定資産合計	52,136	61,020
資産合計	150,859	162,925

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,828	4,937
短期借入金	15	4
未払費用	2,543	2,647
未払法人税等	574	242
賞与引当金	1,223	875
その他	1,398	2,051
流動負債合計	10,583	10,758
固定負債		
役員退職慰労引当金	40	59
退職給付に係る負債	1,906	2,705
その他	1,293	1,907
固定負債合計	3,240	4,671
負債合計	13,824	15,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	90,802	91,736
自己株式	△3,278	△3,279
株主資本合計	131,677	132,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	703	1,970
為替換算調整勘定	△4,739	2,001
退職給付に係る調整累計額	690	567
その他の包括利益累計額合計	△3,345	4,539
少数株主持分	8,702	10,345
純資産合計	137,035	147,495
負債純資産合計	150,859	162,925

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	47,386	52,039
売上原価	37,546	41,417
売上総利益	9,839	10,621
販売費及び一般管理費	8,004	8,983
営業利益	1,835	1,638
営業外収益		
受取利息	285	258
為替差益	1,102	2,006
その他	559	438
営業外収益合計	1,947	2,704
営業外費用		
有価証券評価損	73	—
固定資産解体撤去費用	7	21
土地区画整理組合賦課金	53	—
その他	37	54
営業外費用合計	171	76
経常利益	3,610	4,266
特別利益		
固定資産売却益	58	19
有価証券売却益	—	29
特別利益合計	58	49
特別損失		
固定資産売却損	5	41
固定資産廃棄損	47	27
減損損失	2	—
特別退職金	51	—
特別損失合計	107	68
税金等調整前四半期純利益	3,562	4,247
法人税、住民税及び事業税	704	668
法人税等調整額	△117	140
法人税等合計	586	808
少数株主損益調整前四半期純利益	2,975	3,438
少数株主利益	515	605
四半期純利益	2,460	2,832



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,975	3,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	737	1,335
為替換算調整勘定	6,679	7,959
退職給付に係る調整額	—	△123
その他の包括利益合計	7,417	9,172
四半期包括利益	10,393	12,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,675	10,717
少数株主に係る四半期包括利益	1,717	1,892

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,899	6,684	22,802	47,386	—	47,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	3	0	6	△6	—
計	17,902	6,687	22,802	47,392	△6	47,386
セグメント利益又は 損失(△)	△1,387	1,448	1,775	1,836	△0	1,835

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,023	7,532	25,483	52,039	—	52,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	0	—	3	△3	—
計	19,025	7,533	25,483	52,042	△3	52,039
セグメント利益又は 損失(△)	△2,002	1,671	1,970	1,638	0	1,638

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。